看護師の負担軽減及び処遇改善に関しての取り組み事項

項目		具体的内容
業務量の調整	時間外労働が発生しないような業務量の調整	適正な人員確保による就業時間内での業務終了
	休暇の付与	夏季休暇として２日間の付与
	看護・介護休暇	看護・介護休暇の取得制度
看護職員と他職種との業務分担	薬剤師	持参薬確認、薬袋準備
	リハビリ	患者様の移動時の分担
	臨床検査	オーダーシステムの簡略化
	臨床工学	センサーマット等を含めた機器の全管理
	クラーク業務	医療相談員による看護事務作業補助
	事務部門	入院時の説明、入院病棟案内
看護補助者の配置	看護補助者の夜間配置	病棟夜間帯常時２名の配置
	看護補助者比率	みなし看護補助者を除く看護補助者比率５割以上
	看護補助者への研修	院内研修及び院外研修
	短時間アルバイトの採用	夕方から短時間及び入浴専門のアルバイトを採用
短時間正規雇用	短時間正規雇用の採用	育児のための時短申請許可
多様な勤務形態の導入	希望による勤務形態の配慮	・シフト希望　・雇用形態　・配置希望 ・時間（分）単位休暇制度
妊娠・子育て・介護休暇中の看護職員に対する配慮	院内保育所の設置	保育所の適正運営
	多様な保育体制	幼稚園併用児童の預かり・送迎業務
	夜勤減免	子育て・介護が一段落するまでは減免
	半日勤務時間単位休暇制度	申請により分単位での休暇の設定
	所定労働時間の短縮	時短申請により取得可能
	院内保育の単発使用	通常契約の無いお子さんに対する緊急使用
	院内保育の使用	幼稚園併用児童の預かり・送迎業務
	配置転換	働き方により検討可能
	男性職員の育児休業	男性職員の育児休業の取得のし易さを配慮
夜勤負担の軽減	夜勤従事者の増員	各病棟看護師２名、看護助手２名、１７時から２１時までアルバイト助手採用
	仮眠時間の設定	夜間帯仮眠２時間３０分、他休憩３０分
	夜勤後の休制	勤務明け後の休日（連休）確保
	２交代制	１６時間未満となる勤務体制の確保
	早出・遅出体制	夜勤者負担軽減のための早出・遅出業務体制
	夜勤連続回数	夜勤連続回数２連続まで
	勤務時間間隔の確保	勤務終了時刻と次の勤務開始時刻は原則11時間以上の確保